

10月17日(水)

セミナー カテゴリ	事前登録制 セミナーコード	時間	講演タイトル ※事前登録可能なセミナーは色文字(クリックで申込サイト)	講演者	セミナー/ シアター会場
建設テックシアター	-	10:30 ~ 11:00	住宅トラブルから探る技術ニーズ	日経BP社 日経xTECH/日経ホームビルダー記者 荒川 尚美	建設テックシアター (東1ホール)
建設テック・セミナー	D-112	11:30 ~ 12:10	“ドキュメントBPO”で働き方改革実現！ ～高速出力から電子化+3次元処理まで～	中京コピー 代表取締役社長 嶋津 誠司 氏	セミナールーム② (東1ホール)
建設テックシアター	-	12:30 ~ 13:00	宇宙建築で磨く先端技術	日経BP社 日経xTECH/日経アーキテクチャ記者 江村 英哲	建設テックシアター (東1ホール)
建設テック・セミナー	X-132	13:30 ~ 14:10	ICTが建築の設計を変える	日建設計 常務執行役員 山梨 知彦 氏	セミナールーム② (東1ホール)
建設テック・セミナー	D-142	14:30 ~ 15:10	2.5万社が導入！国交省が適法性を認めた電子契約 サービスで実現するコスト削減	弁護士ドットコム 執行役員 クラウドサイン事業部長 橋 大地 氏	セミナールーム② (東1ホール)
メインシアター	-	15:30 ~ 16:00	建築ITベンチャーの戦略	日経BP社 日経xTECH/日経アーキテクチャ記者 江村 英哲	メインシアター (東2ホール)
建設テックシアター	-	16:30 ~ 17:00	「働くクルマ」はどこまで買くなるか	日経BP社 日経xTECH/日経コンストラクション記者 木村 駿	建設テックシアター (東1ホール)
基調講演	K-16A	* 16:55 ~ 17:25	持続的な成長を支える真の“融合力”とはなにか	LIXILグループ 取締役 代表執行役社長 兼 CEO 瀬戸 欣哉 氏	アリーナ (東3ホール)

*10月10日に開始時間が変更となりました。

講演概要
住宅設備に対する関心が高まっている。省エネ機器による光熱費削減や災害時対応に加え、近年は健康と温熱環境の関係や機器のIoT化による利便性向上などが効いている。一方、住宅設備を原因とする火災やけが、騒音といったトラブルも目立ち始めてきた。住宅設備に求められる安全性や信頼性を展望する。
今や避けては通れない「働き方改革」。業務効率化や残業削減の実現には、膨大なデータや資料の扱いが鍵となります。弊社は半世紀に亘り、正確性と迅速性が強く求められる建設土木業界を主戦場にサービス展開しております。最新鋭入出力設備と24時間365日サポート体制に裏付けされた「次の一手」をご提案致します。
建設各社が宇宙建築に注目し始めている。ある大手ゼネコンは、定款を見直して「宇宙開発」を事業目的に加えた。研究から生まれた技術は地球上での事業に生かす方針だ。宇宙建築は先端技術にどんな影響を与えるのか。国内外の動向を紹介する。
最も生産性の改革が進んでいないとされている建築設計界においても、ICTによる改革がはじまりに始まった。その動きは、(1)コンピューターシミュレーション、(2)コンピューターショナルデザイン、(3)デジタルデザイン、(4)IoT、(5)BIM、(6)AI に集約できる。建築設計実務におけるこれらの動向を、実務者の立場から、実作を通して解説する。
契約書を紙から電子契約に変えるメリットの一つが「印紙税の削減」ですが、建設業法上、「電子契約」は問題ないのか？経産省および国交省が公式に「指定の技術要件を満たしていること」を認めた電子契約サービス「クラウドサイン」の事業責任者(弁護士)が解説する、建設業界における契約の電子化とコスト削減の実例。
建設業界に新規参入するベンチャー企業が目立ってきた。同じ業界に長くいる人には、その業界の非効率さが見えにくいもの。ITを武器に建設業界に乗り込んでくるベンチャー経営者たちは、建設業界のどこに新ビジネスの芽を見いだしているのか。
生産性では製造業に大きく遅れをとる建設業。工場の自動化は、建設業界が何十年も前から抱えてきた「夢」だ。大手建設会社や建機メーカーは、やがて訪れる深刻な人手不足の時代に備え、重機の自動化に取り組み始めた。AIやIoTなどの革新的な技術を武器に、現場は「工場」に生まれ変わるのか。
LIXILは、国内の主要建材・設備メーカー5社が統合して誕生、その後、GROHE、American Standardといった世界的ブランドがグループ入りした企業。異なる企業文化や技術・ノウハウを融合する力が、新たな価値を生み、持続的な成長を遂げる基盤となっている。真の“融合力”とは

10月18日(木)

セミナー カテゴリ	事前登録制 セミナーコード	時間	講演タイトル ※事前登録可能なセミナーは色文字(クリックで申込サイト)	講演者	セミナー/ シアター会場
建設テック・セミナー	X-201	10:30 ~ 11:10	人とロボットが協働する次世代建築生産システム— Shimz Smart Site—	清水建設 常務執行役員 生産技術本部長 印藤 正裕 氏	セミナールーム① (東1ホール)
建設テック・セミナー	D-211	11:30 ~ 12:10	1万以上の建設現場ノウハウの結晶 ～建設業の競争力を高めるPMPとは～	レゴリス PMP事業部 事業部長 八角 嘉敏 氏	セミナールーム① (東1ホール)
建設テックシアター	-	12:30 ~ 13:00	テロに強い建築・都市のつくり方	日経BP社 日経xTECH/日経アーキテクチャ記者 森山 敦子	建設テックシアター (東1ホール)
建設テックシアター	-	13:30 ~ 14:00	ここまで来た！現場ロボット最前線	日経BP社 日経xTECH/日経アーキテクチャ記者 谷口 りえ	建設テックシアター (東1ホール)
建設テック・セミナー	D-244	14:30 ~ 15:10	土木・建築・IT部門のトップが一堂に～現場の汗の結晶 が作る「働き方改革」トークライブ～	Dropbox Japan シニアマネージャー 古館 昌孝 氏	セミナールーム④ (東1ホール)
メインシアター	-	15:30 ~ 16:00	建築・住宅生産を変えるAI・IT	日経BP社 日経xTECH 建設 編集長/日経ホームビルダー編 集長 浅野 祐一	メインシアター (東2ホール)
建設テックシアター	-	16:30 ~ 17:00	スタートアップの金言から考える建設業のイノベーション	日経BP社 日経xTECH/日経コンストラクション記者 木村 駿	建設テックシアター (東1ホール)

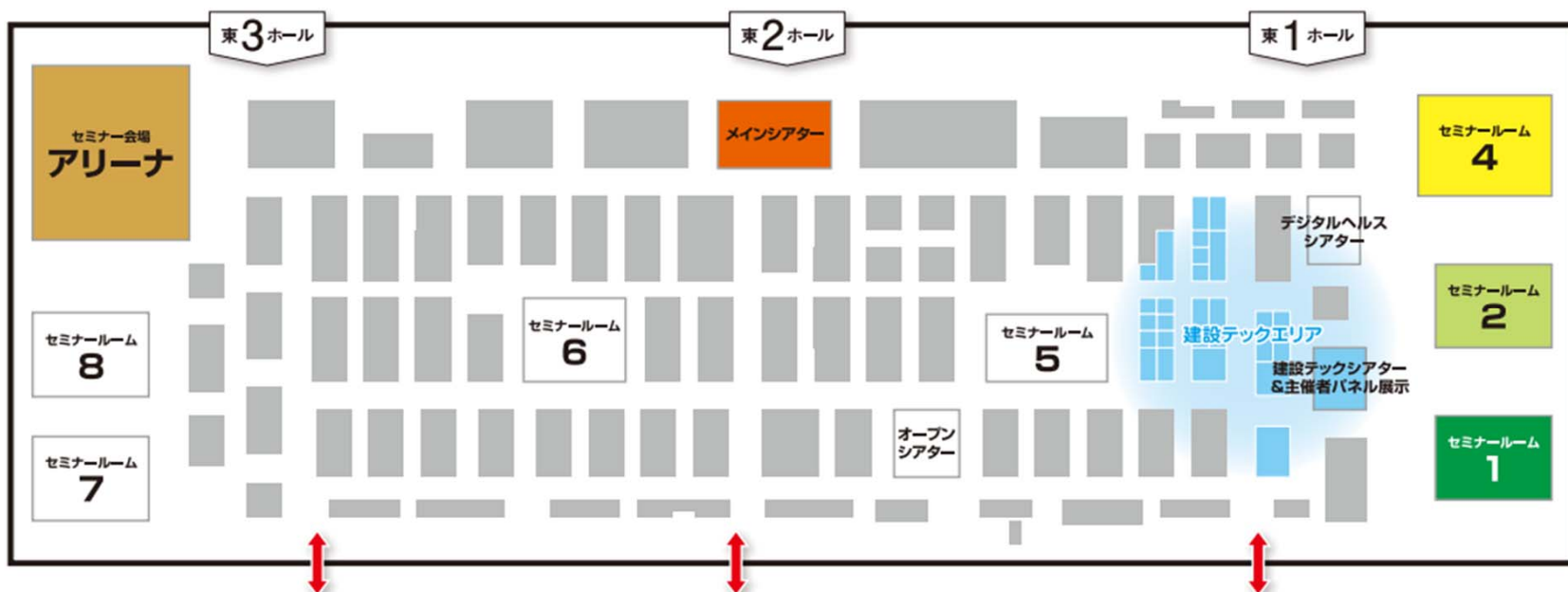
講演概要
かつての「機械」は「使うこと」に人が多くのエネルギーを投入しました。AI、IoT、ディープラーニングなどの技術イノベーションが始まった今、かつての「機械」は人を手伝う「仲間」になれるかもしれない。建築現場に、様々なロボットを導入して生産性向上、品質・安全の向上、労働環境改善などに挑戦する試みを開始。
弊社の図面共有・工事写真アプリ「スパイダープラス」は1万以上の建設現場で活用されています。IT化の成功事例と現場が混乱しない具体的なステップ。そして弊社の目指す建設業の未来、企業の生産性・ブランドにまで影響を与える、PMP(Project Management Platform)の構想をお話します。
2020年の東京五輪開催が近づき、爆破や衝突によるテロへの対策に関心が高まり始めた。例えば、空からビルを攻撃できるドローンは、新たな脅威となっている。テロ攻撃から建築や都市を守るヒントを、米国のガイドラインや日本の研究から学ぶ。
建築の施工現場でロボット導入が本格化し始めた。技能労働者の不足や高齢化が深刻さを増すなか、現場の生産性を一気に高める切り札として期待されている。大手建設会社が導入に力を入れる最新ロボットの動向を解説する。
建設業の状況は周知の通りです。しかし現場では様々な課題を突きつけられています。人材育成、女性活躍、海外展開、IT活用等。これらの課題を迎撃する現場の汗の結晶を土木、建築、ITの責任者が一堂に会しライブでお届けします。明日から本当に現場で使える学びをお持ち帰りください。
新築、改修を含めて年間45兆円規模の市場を持つ建築・住宅産業。働き手の高齢化や若手確保の難しさから、旧来型の生産システムをテクノロジーによって見直そうという機運が高まっている。建築・住宅の生産システムにおける技術ニーズとともに、ITやAIの導入状況を中心とした最新の動向を紹介する
建設産業に残る古い商慣習や旧態依然とした仕事の進め方、ロボットやVR、ICTなどの最新技術で変えようとするスタートアップ企業が増えている。スタートアップと手を組み、本業の強化や新ビジネスの創出を目指す建設会社も現れ始めた。スタートアップの創業者の声を基に、その動向を読み解く。

10月19日(金)

セミナー カテゴリ	事前登録制 セミナーコード	時間	講演タイトル ※事前登録可能なセミナーは色文字(クリックで申込サイト)	講演者	セミナー/ シアター会場
建設テック・セミナー	X-302	10:30 ~ 11:10	国土交通省におけるAI、IoT、ビッグデータ等の活用について	国土交通省 国土交通事務次官 森昌文 氏	セミナールーム② (東1ホール)
建設テック・セミナー	D-312	11:30 ~ 12:10	1200社導入！国交省「NETIS」登録済みの施工管理IT サービスANDPADで実現できる「働き方改革」	オクト 代表取締役社長 福田 武夫 氏	セミナールーム② (東1ホール)
建設テックシアター	-	12:30 ~ 13:00	テックが迫る不動産ビジネスの変革	日経BP社 日経不動産マーケット情報編集長 三上 一大 日経不動産マーケット情報記者 長廣 恭明	建設テックシアター (東1ホール)
建設テック・セミナー	X-332	13:30 ~ 14:10	建設テック革命が始まった	日経BP社 日経xTECH/日経コンストラクション記者 木村 駿	セミナールーム② (東1ホール)
メインシアター	-	14:40 ~ 15:10	建設業界でいま流行りの「壊さない」構造物検査	日経BP社 日経xTECH/日経コンストラクション副編集長 眞鍋 政彦	メインシアター (東2ホール)
建設テックシアター	-	15:30 ~ 16:00	海外建設業に学ぶ！生産性革命	日経BP社 日経xTECH/日経コンストラクション記者 長谷川 瑠子	建設テックシアター (東1ホール)
建設テックシアター	-	16:30 ~ 17:00	「着るだけセンサー」が見守る現場の安全	日経BP社 日経xTECH/日経コンストラクション記者 夏目 貴之	建設テックシアター (東1ホール)

講演概要
国土交通省では、測量から設計、施工、維持管理までを3次元データの活用で繋ぎ、新技術、新工法、新材料の導入、利活用を加速化させる取り組みやAI等を活用した国土交通行政の高度化の高度化の推進を進めています。AI、IoTやビッグデータなどの融合による国土交通行政の新たな可能性についてお伝えします。
施工現場でのICT活用を通じた働き方改革が広まりをみせています。ANDPADを通じた施工管理のコミュニケーション効率化、受発注のオンライン化、オンボーディングのTIPSなどのICT事例を共有し、民間の新築・リフォーム、商業建築などの施工現場での課題、ICT化の兆しについてお話しさせていただきます。
金融との融合で成長を遂げた日本の不動産市場。世界的な資金運用難が続くなか、相対的に高いリターンが国内外の投資マネーを引き寄せる。しかし内実は、人と人とのつながりが物を言ひ、情報の偏在性が利益の源泉となる古い体質を引きずる。押し寄せるテックの波はこれを打ち破れるのか。不動産の専門記者がその可能性を解説する。
国交省の「e-Construction」を引き金に、アナログな建設産業が、AIやロボティクスなどのテクノロジーを取り入れて生まれ変わろうとしている。生産性向上に挑む建設業界と、変革を商機とらえた異業種の企業、彼らを政策面で後押しする国交省。三者の動きが織りなす「建設テック革命」の動向を解説する。
2012年の笹子トンネルの崩落事故を受けて、「外から見えない箇所の健全度をどう評価するか」は建設業界にとって大きなテーマとなった。工場内での非破壊検査と違って、土木構造物のほとんどは外で供用しているため、機器の持ち運びやすさなどが求められる。建設でいま流行りの非破壊検査に迫る。
建設業の生産性向上を目指すのは日本だけではなく、大規模なプレキャスト化やBIM・CIMの活用に挑戦する東南アジア、橋の「工業製品化」を目指す米国、3Dプリンターをいち早く建設分野に取り入れ始めた欧州など、海外に学ぶ点は多くあります。海外の現場に赴いて取材した先進事例を紹介します。
Apple Watchに代表されるような、小型で高性能なウェアラブルセンサーが身近になってきた。本人でも気付かない体調不良を見抜くことができれば、事故を未然に防げる——。そう踏んだ建設会社や関連会社が開発を進める多様なセンサーを紹介する。

※建設テックシアター(ブースNo.1200)において、講演時間以外は動画『日経xTECHで掲載中「建築ロボで生産革命 動画図鑑」』を随時投影



建設テック2018

セミナー/シアター
詳細情報

